

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	三橋 正道	電 話	483-1151 内線2210
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3207		事務事業名称	環境衛生事務事業					短縮コード	経常	3207	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	八千代市墓地等の経営の許可等に関する条例，四市複合事務組合同規約						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和52年度から，船橋市・習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市の4市で運営している馬込斎場に係る管理・運営に要する経費を負担する。（習志野市は平成5年度より参加）													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 近年の高齢化の進展に伴い，火葬利用者数が増加しているため，第2斎場（火葬場）の整備が検討されている。						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして				
							大項目（節）	02	社会福祉				
							中 項 目	07	墓地・斎場				
							小項目（施策）	02	斎場の整備				
							細 項 目						
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成13年4月 ～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	馬込斎場の運営 船橋，八千代，鎌ヶ谷，習志野による共同運営である。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： ①馬込斎場を運営する四市複合事務組合へ分賦金を納入した。 ②四市複合事務組合運営協議会及び馬込斎場連絡協議会に参加し，火葬場運営計画等を協議した。							
	※平成20年度に計画していること： ①馬込斎場を運営する四市複合事務組合へ分賦金を納入する。 ②四市複合事務組合運営協議会及び馬込斎場連絡協議会に参加し，火葬場運営計画等を協議する。 ③第2斎場整備の検討を進める。							
意図 （何を狙っているのか）	死者の火葬は必要不可欠であり，葬祭場に対する市民の需要に応え，環境及び利便性にも配慮した斎場の円滑な運営を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	斎場数	箇所	1	1	1	1	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	馬込斎場の式場数	室	4	4	4	4	
	指標2	火葬炉の数	基	15	15	15	15	
	指標3							
成果指標	指標1	馬込斎場の施設利用件数（四市合計）	件	6,944	6,610	7,029	7,100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3207	事務事業名称	環境衛生事務事業				所属名	健康福祉課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			火葬等の件数増加に対応するため、施設環境等への配慮のもと第2斎場の整備をはじめ事業の推進を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			第2斎場整備等により費用は増加するが、火葬炉需要への対応が図られる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市民からは、近距離に立地する火葬場設置要望がある。									

所属長コメント	火葬炉需要への対応から緊急の課題となっている第2斎場の整備については、事業主体が四市複合事務組合ではあるものの、本市での公募による候補地選定に取り組んでいることから、組合及び関係市と協力して事業を円滑に進めていきたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，第2 斎場の整備を推進していくべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									